

---

# データプラットフォームの創設

---

慶應義塾大学 環境情報学部 准教授/ 医学部 准教授（兼担）  
内閣官房 情報通信技術（IT）総合戦略室長代理 / 副政府CIO

神成 淳司（SHINJO Atsushi）

# データプラットフォームの創設

1

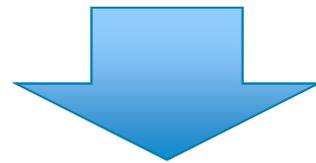
ベンダーやメーカーの壁を越えて、異なるシステム間のデータが連携し、活用可能とする

2

公的機関や研究機関が有する様々な情報（生育データ、市況状況や気象データ等）をプラットフォーム上に集約し、整備・提供可能とする

3

個々人のデータを共有（ビッグデータの形成）可能とし、お互いの比較等を可能とする



ビッグデータを活用した  
経営改善・生産性向上

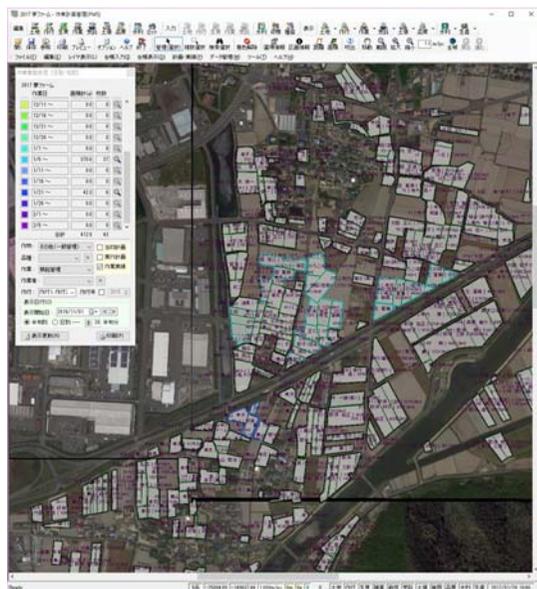
気象データ等を活用した  
生育予測等による  
安定供給

篤農家の経験や勘と  
データを融合した  
高品質生産の展開

# データプラットフォームで変わる農業①

## <①営農計画※の立案>

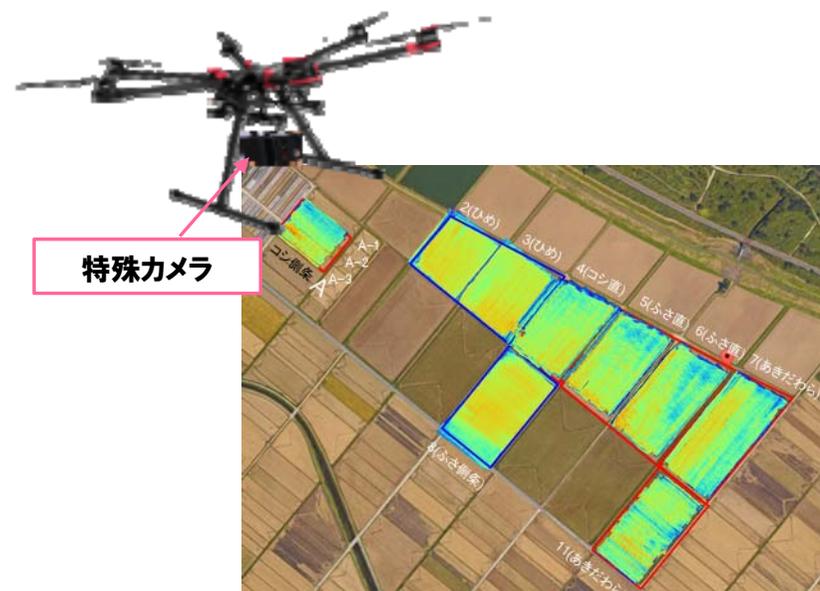
※どのような品種を、いつ植え、どのタイミングで農薬をまき、いつ収穫するかといった栽培・作業の計画



(出典) 未来投資会議構造改革徹底推進会合「ローカルアベノミクスの深化」会合（農業）（第5回）株式会社夢ファーム提出資料より引用

- 営農履歴、オープンデータ、ビッグデータ等を基に、最適な営農計画を立案
- 農地ごとの作業履歴を従業員で共有。販売時のトレーサビリティにも活用

## <②精密農業の実現>



(出典) 未来投資会議構造改革徹底推進会合「ローカルアベノミクスの深化」会合（農業）（第5回）I S S A山形提出資料より引用

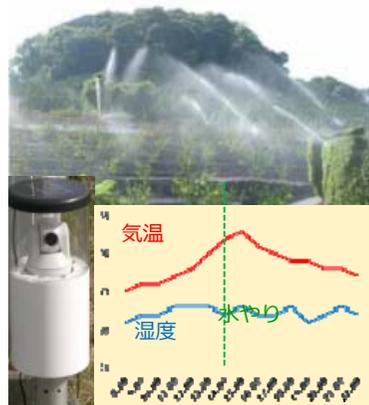
- ドローン等を利用して、農産物の生育状況を一気に把握
- データ分析によって、最適期に、ほ場ごとに最適な施肥・防除を実施
- ほ場ごとの収量データや土壌データ等と合わせて分析し、収量向上につなげる

# データプラットフォームで変わる農業②

## ＜③データを活用した高品質生産＞



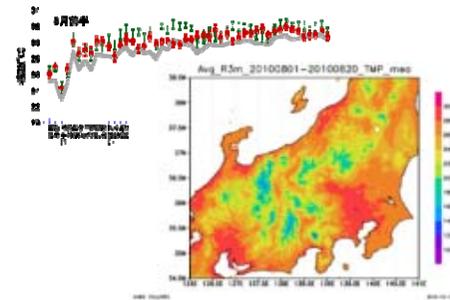
「篤農家」の技の見える化



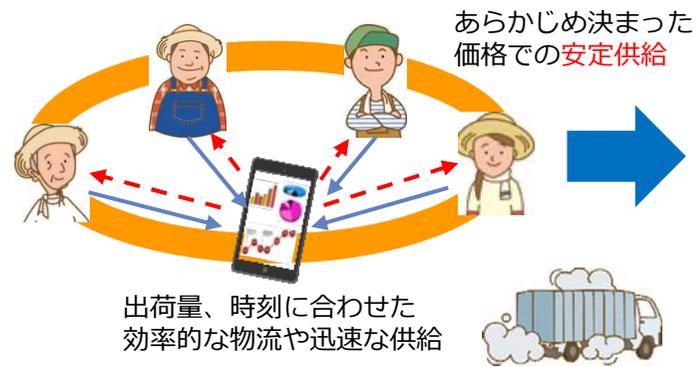
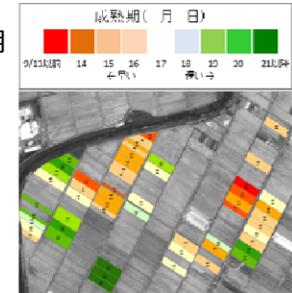
センサーや気象データに基づく栽培管理

- データ等を基に「篤農家」の技を「見える化」し、ノウハウを短期間で習得
- センサーデータ等に基づく栽培管理と合わせて、高品質な農産物を生産

## ＜④バリューチェーンの連結＞



生育予測を活用した適期作業



- 気象データに基づく生育予測等により、適期作業を実現し、生産性を向上
- 様々な地域の農家が生産・出荷データを共有・連携し、実需者への安定供給、流通の効率化を実現